

「ヒストンメチル化酵素 EZH1/2 二重阻害剤を用いた HIV-1 感染症研究」

研究責任者：東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
四柳 宏

私たちは、HIV 感染症をより正確に理解し、より良い治療法を開発することを目指して、東京大学と第一三共株式会社が開発した薬剤「EZH1/2 二重阻害剤」を用いて、この新しい化合物が HIV に感染した細胞（潜伏感染細胞）に及ぼす影響を調べる研究を行っています。

この研究では、以前より感染症分野・感染免疫内科にて施行しております「ヒストンメチル化酵素 EZH1/2 二重阻害剤を用いた HIV-1 感染症研究（承認番号 29-4-B0512）」、「HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究（承認番号 28-38-1211）」、「HIV 感染症に関する臨床ゲノム情報に関する研究（承認番号 28-55-0330）」及び「HIV 感染者の合併症に関与するバイオマーカーの探索（承認番号 30-32-B0801）」にご提供いただいた試料及び診療情報も使わせていただきたいと考えております。

本研究では、ご提供いただいた血液の中から HIV 感染細胞を取り出した後に試験管の中で「EZH1/2 二重阻害剤」と反応させて、HIV 感染細胞がどのように変化するかを調べます。また、「EZH1/2 二重阻害剤」と反応させる前と後で HIV 感染細胞がどのように変化したか、ゲノム解析によって明らかにしていきます。ただし、全ゲノム解析などの個人情報をも特定できるゲノム解析は施行しません。

1. 研究の対象となる方

本研究は、これまでに下記の研究にご参加いただいた方を対象としております。

「ヒストンメチル化酵素 EZH1/2 二重阻害剤を用いた HIV-1 感染症研究」

（承認番号 29-4-B0512、研究期間 2017 年 5 月 12 日～2019 年 3 月 31 日）

「HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究」

（承認番号 28-38-1211、研究期間 2016 年 12 月 11 日～2021 年 12 月 31 日）

「HIV 感染症に関する臨床ゲノム情報に関する研究」

（承認番号 28-55-0330、研究期間 2017 年 3 月 30 日～2021 年 3 月 31 日）

「HIV 感染者の合併症に関与するバイオマーカーの探索」

（承認番号 30-32-B0801、研究期間 2018 年 8 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

2. 研究に用いる試料・情報の種類

上記の研究にご提供いただいた試料・情報

試料：Plasma、細胞、培養上清および、DNA や RNA サンプル 等

情報：年齢、性別、血液中の HIV 量、CD4 陽性 T 細胞数、感染症関連の検査データ、抗 HIV 薬内服年数などの治療内容、臨床経過 等

3. 外部への試料・情報の提供

上記試料及び情報は、東京大学大学院新領域創成科学研究科及び熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターへ提供されますが、その場合も個人情報は提供しません。対応表は、引き続き当院の個人情報保護管理者が保管・管理します。

4. 研究期間

2019年4月2日（所長許可日）～ 2024年4月1日

5. 研究組織

本研究全体の代表機関及び研究責任者

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野 四柳 宏

本研究の分担機関

東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 内丸 薫、山岸 誠、鈴木 穰

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター ゲノミクス・トランスクリプトミクス分野 佐藤 賢文

第一三共株式会社 オンコロジーラボラトリー 第二グループ 本間 大輔

6. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野

四柳 宏

電話番号：03-5449-5338

住所：〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1